

認知症に関する活動計画（概要）

【事業目的】

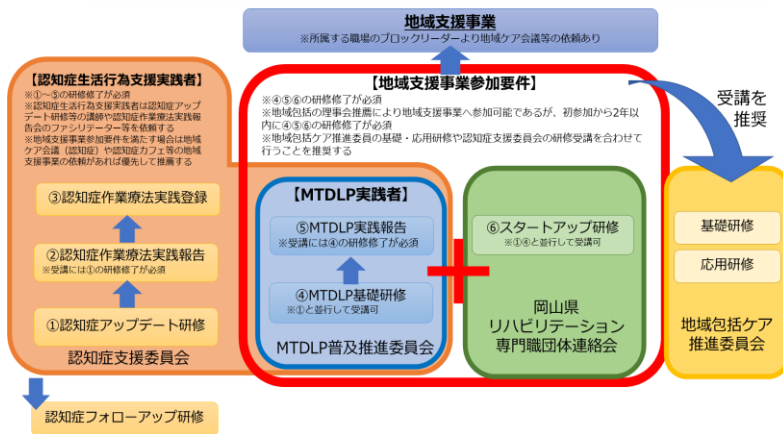
認知症の人が尊厳を持って認知症とともに生きることや認知症になっても進行を緩やかにすることに資する作業療法士を育成し、認知症があってもなくても同じ社会でともに生きる社会の実現に向けた地域貢献活動や調査・研究を実施する。

【活動内容】

人材育成事業として3つの研修会（認知症アップデート研修、認知症フォローアップ研修、認知症作業療法実践事例報告会「GP報告会」）を開催している。また、県士会員や認知症支援実践者による認知症関連活動や地域支援事業への参画状況の調査をおこない、行政、関係団体へ認知症作業療法の広報活動と連携強化していく。今後は認知症作業療法のエビデンス構築のための実践事例の集積や研究等を進めていく。

人材育成事業

認知症生活行為支援実践者及び地域支援事業参加要件 養成研修図



地域支援事業へ参画できる人材育成のため、今まで当士会が進めてきた認知症生活行為支援実践者研修に加え、新たに認知症作業療法フォローアップ研修を開催した。「**認知症の人の支援に必要な薬の知識**」について地域で活躍されている医師による講演会をオンラインで開催し、32名の参加があった。認知症アップデート研修2回、GP報告会1回をオンラインで開催した。認知症生活行為支援実践者は**16名**となり、今後は研修会講師や地域支援事業など活躍の場を広げたい。

調査事業

昨年度実施した県士会員への認知症支援に関する地域活動の現状アンケート調査において「地域活動に参加している」と回答のあった中から32名に追加のアンケートを実施した。その結果、地域には様々なニーズがあるものの、作業療法士が参画できていない現状や地域のニーズに合わせた活動の重要性、作業療法士と地域をつなぐシステムの必要性などを知ることができた。今後も情報収集を行い、**人材の発掘や地域と作業療法士をマッチングするような仕組み作り**を進めていく。

広報連携事業

「**認知症の人と家族の会 岡山県支部**」が運営している**若年性認知症の人と家族の集い（ひまわりの会）**から依頼を受けて、認知症の進行度に合わせた活動提供のコツや目標設定をまとめたパンフレットを作成した。

現在は、絵手紙とフォトフレームが完成しており、今後、種目を増やしていき作業療法啓蒙活動の一環として関係団体へ配布や県士会ホームページへ掲載し、必要な方にご活用いただけるようにする。



他県士会との情報交換会

群馬県士会 地域作業療法推進部 認知症支援推進グループの皆様と情報交換交流会をオンラインで実施した。両士会の取り組みや課題など共有することができた。今後、できれば **コラボ勉強会**など実施していきたい。